

帰国生徒・渡日生徒特別選抜 専願 社会人特別選抜 併願

帰国生徒・渡日生徒特別選抜は、外国で学校教育を受けた方等、社会人特別選抜は、高等学校卒業または同等の学力があり、23歳以上の社会経験がある方を対象とした入試です。

入試日程

大学・短期大学部（帰国生徒・渡日生徒／社会人 共通）

出願期間（締切日消印有効）	試験日	合格発表日	入学金納入期間	前期授業料等納入期間
2025年 10月1日(水)～10月9日(木)	2025年 10月18日(土)	2025年 11月4日(火)	2025年 11月4日(火)～11月14日(金)	2025年 11月4日(火)～12月12日(金)

注1) 出願期間最終日の翌業務日に限り、守口キャンパスにて出願窓口受付を実施します。(9:00～15:00)

注2) 合格発表日の13:00からWeb合否照会で合否を確認できます。なお、郵送での合否通知は行いません。

選考方法

帰国生徒
渡日生徒

小論文
(作文)

+

志望理由書
面接

- ① 小論文(作文) (50点満点) / 試験時間 60分
- ② 志望理由書・面接 (50点満点)
- ①・② による総合判定

社会人

面接

面接 (50点満点)
による判定

出願要件

帰国生徒・渡日生徒

資格Aまたは資格Bのいずれかに該当し、本学を専願とする者。

資格A (帰国生徒)

日本国籍を有する者または日本国の永住許可（もしくは定住許可）を得ている者で、次の①～⑤のいずれかに該当し、2026年4月1日の時点において満18歳に達する者。（⑤に該当する者は、出願期間開始日の2週間前までに入試・広報部までお問い合わせください。）

- ① 外国の高等学校に1年以上継続して在学し、外国の高等学校を2024年4月1日から2026年3月31日までに卒業（修了）した者および卒業（修了）見込みの者。
- ② 外国の高等学校に1年以上継続して在学し、日本の高等学校（文部科学大臣の指定した帰国生徒の受け入れを主たる目的として設置された高等学校またはこれに準じる教育機関を含む）を2024年4月1日から2026年3月31日までに卒業した者および卒業見込みの者。
- ③ 通算6年以上または継続して3年以上外国で教育を受け、帰国後の日本の高等学校の在籍期間が3年以内の者で、2024年4月1日から2026年3月31日までに卒業した者および卒業見込みの者。
- ④ 外国において、国際的に認められる「大学入学資格検定」相当の資格を2024年4月1日から2026年3月31日までに取得した者および取得見込みの者。
- ⑤ 前項までの各項と同等以上の資格があると本学が認めた者。

注1) 外国の高等学校には、文部科学大臣が高等学校と同等の課程と認定、または相当の課程を有するものとして指定した在外教育施設を含む。

注2) 不明な点は出願期間開始日の2週間前までに入試・広報部までお問い合わせください。

注3) 国際教養学部インテンシブプログラム（英語・中国語）の出願資格についてはP8参照

資格B (外国人生徒・中国帰国生徒)

中国から帰国した者または日本に在留する外国人（「出入国管理及び難民認定法」の第二条の二に規定する別表第二に定める在留資格を有する者）で、原則として、日本国内の小学校4年以上の学年に編入学し、日本語理解、表現に関する能力を有すると本学が認め、なおかつ [a] ～ [c] のいずれかに該当する者。（[c] に該当する者は、出願期間開始日の2週間前までに入試・広報部までお問い合わせください。）

[a] 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月までに卒業見込みの者。

[b] 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月までに修了見込みの者。

[c] 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

社会人

2026年4月1日の時点において、次の①・②のいずれかに該当し、社会経験を有する23歳以上の者。

- ① 高等学校を卒業した者。
- ② その他本学が①と同等以上の学力があると認めた者。

注1) 不明な点は出願期間開始日の2週間前までに入試・広報部までお問い合わせください。

注2) 国際教養学部インテンシブプログラム（英語・中国語）の出願資格についてはP8参照

試験会場

帰国生徒・渡日生徒

社会人

本学（守口キャンパス）

入試
ライオン
トップ

入試
カレンダー

アドミ
ニシ
ョン
ポリ
シー

英語
外部
入試
利用
イン
テン
シブ
プロ
グラ
ム

特
待
生
制
度

入
試
要
項

総合
型選
抜
(A・
O)

特
定
地
域
帰
国
渡
日
・
社
会
人

フ
ァ
ミ
リ
ー
編
入
・
留
学
生

ス
ポ
ー
ツ
・
吹
奏
楽

専
門
・
総
合
指
定
校

公
募

一
般
ラ
イ
フ
・
チ
ャ
レ
ン
ジ

そ
の
他
情
報
・
イ
ン
タ
ー
ネ
ッ
ト
出
願

各
種
免
除
割
引
制
度
・
対
策
講
座

オ
ー
フ
・
キ
ャ
ン
パ
ス
イ
ベ
ン
ト

インテンシブプログラム（英語・中国語）受験方法

大学：国際教養学部（国際コミュニケーション学科／国際観光学科）

1 面接試験を伴う入試種別の場合

- ・総合型選抜（AO）
- ・特定地域特別選抜
- ・帰国生徒・渡日生徒特別選抜
- ・ファミリー特別選抜
- ・スポーツ・吹奏楽特別選抜
- ・専門・総合学科特別選抜
- ・学校推薦型選抜（指定校）
- ・学校推薦型選抜（公募）C方式（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）
- ・一般選抜（ラストチャレンジ日程）

英語インテンシブプログラム※1

実用英語技能検定準2級以上の取得者、またはそれと同等の能力があると認めた者が対象となり、出願（AOはエントリー）時に本学所定の「**インテンシブ志望理由書**」と実用英語技能検定等の「**合格証明書（コピー可）**」の提出が必要です。
なお、面接試験は日本語と英語で実施します。

中国語インテンシブプログラム※2

出願（AOはエントリー）時に本学所定の「**インテンシブ志望理由書**」の提出が必要です。

※1「英語インテンシブプログラム」では、入学後、大学が指定する条件を満たした者を対象に、認定留学校の授業料（1セメスター分）を大学が負担する制度があります。
※2「中国語インテンシブプログラム」では、入学後半年間の準備期間を経て、本学が定める基準を満たした者のみ本プログラムの継続受講が許可されます。

2 学科試験を伴う入試種別の場合

- ・学校推薦型選抜（公募）A方式・B方式（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）
- ・一般選抜前期日程・後期日程

英語インテンシブプログラム※1

出願時に本学所定の「**インテンシブ志望理由書**」の提出が必要です。

中国語インテンシブプログラム※2

出願時に本学所定の「**インテンシブ志望理由書**」の提出が必要です。

※1「英語インテンシブプログラム」では、入学後、大学が指定する条件を満たした者を対象に、認定留学校の授業料（1セメスター分）を大学が負担する制度があります。
※2「中国語インテンシブプログラム」では、入学後半年間の準備期間を経て、本学が定める基準を満たした者のみ本プログラムの継続受講が許可されます。

3 入学後のインテンシブプログラム申込み

英語インテンシブプログラムについては入学後の学科オリエンテーション時にも申込みができます（5～10名程度）。
受験時に資格がなく申込みができなかった方は入学後にぜひ申込みください。

入試
ラインナップ

入試
カレンダー

アドミ
ニシ
ョン
ポリ
シー

英語
外部
入試
利用
イン
テン
シブ
プロ
グラ
ム

特
待
生
制
度

入
試
要
項
総
合
型
選
抜
（**A
O**）

特
定
地
域
帰
国
渡
日
社
会
人

フ
ァ
ミ
リ
ー
編
入
・
留
学
生

ス
ポ
ー
ツ
・
吹
奏
楽

専
門
・
総
合
指
定
校

公
募

一
般
ラ
ス
ト
チ
ャ
レ
ン
ジ

そ
の
他
情
報
イ
ン
タ
ー
ネ
ッ
ト
出
願

各
種
免
除
割
引
制
度
対
策
講
座

オ
ー
フ
・
キ
ャ
ン
パ
ス
イ
ベ
ン
ト

経営経済学部

経営学科

経営学科では、経営学の専門知識のみならず、経営を取り巻く社会の広い知識を身につけ、総合的な視野から社会の発展に貢献できる人材を養成することを目指す。このために、次のような者を幅広く受け入れる。

- ① 経営学科での履修に必要な基礎学力を持ち、企業経営・マーケティング・ベンチャービジネス・スポーツビジネスに関わる学修に意欲を持つ人。
- ② 絶えず変化する社会の中であって、自らの思考能力、コミュニケーション能力を磨き、時代の先端を歩む意欲を持つ人。
- ③ 持続可能性が求められる産業・経済社会であって、現場の課題を発見し、情報を収集し、的確に判断し、問題を解決しようする意欲を持つ人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。ただし、経営学科に入学するために、経営学の特別な基礎知識は必要としない。大学で学ぶにふさわしい意欲と基礎学力を備えた人材であれば、すべての人を歓迎する。

経済学科

経済学科では、経済学のみならず、経営学や情報、さらには法律や行政分野を含めた広い知識を身につけ、総合的な視野から経済社会や地域社会の発展に貢献できる人材を養成することを目指す。このために、次のような者を幅広く受け入れる。

- ① 国際化する経済社会や地域社会に関心を持ち、自主的・主体的にその問題解決に取り組もうとする強い意志を有している人。
- ② 行政・経済・税務に関わる公務員や、公共団体・NPO法人の職員、ファイナンシャルプランナーなどの金融・保険関係の専門家・責任者として活躍したいと考えている人。
- ③ 経済学を中心とする幅広い分野の学問を修めるなど、将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。ただし、経済学科に入学するために、経済学の特別な基礎知識は必要としない。大学で学ぶにふさわしい意欲と基礎学力を備えた人材であれば、すべての人を歓迎する。

人間科学部

心理コミュニケーション学科

心理コミュニケーション学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

- ① 人間の心理と人とのコミュニケーションに関心を持っている人。
- ② 人と社会を幸せにしたいと考えている人。
- ③ 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。
- ④ 幅広く様々なことを学ぶ意欲がある人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

人間健康科学学科

人間健康科学学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

- ① 「人間」、「社会」、「健康」に対する関心を持っている人。
- ② 「心豊かに人生を生きる技と、社会人として必要な基礎的能力を身につける」という学科の理念に共感できる人。
- ③ 将来は、健康をはじめとしたさまざまな分野で、人々の幸せのために貢献しようとする意欲を持っている人。
- ④ 何ごとに対しても積極的に取り組み、常に自分を成長させていこうと考えている人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

スポーツ行動学科

スポーツ行動学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

- ① 本学科の特性を理解し、勉学と課外活動を両立できる人。
- ② スポーツ教育、健康・スポーツ指導、スポーツマネジメントに興味・関心がある人。
- ③ 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。
- ④ 幅広く様々なことを学ぶ意欲があり、地道に継続した努力を惜しまない向上心のある人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

国際教養学部

国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

- ① 語学力と行動力をもって国際社会で活躍したいと考えている人。
- ② 多文化に関心を持っている人。
- ③ 基本的な言語コミュニケーションができること。
- ④ 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

国際観光学科

国際観光学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

- ① 多文化や日本文化に関心を持っている人。
- ② 観光やホスピタリティに関連するビジネスに関心を持っている人。
- ③ 文化・芸術・エンタテインメントに関連するビジネスに関心を持っている人。
- ④ 基本的な言語コミュニケーションができること。
- ⑤ 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

短期大学部

幼児保育学科

幼児保育学科では、学科の教育目的を理解し、学習成果を達成できる資質を持つ人、具体的には次のような人を求める。

- ① 保育にかかわるすべての事柄に関心を持っている人。
- ② 幅広く様々なことを学ぶ意欲のある人。
- ③ ①、②をもとに、幼稚園教諭免許と保育士資格の取得を目指す人。

上記の人物像を踏まえ、筆記試験を中心とする一般選抜試験と面接などを中心とする各種選抜試験を実施し、学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を総合的に評価する。

栄養学科

栄養学科では、学科の教育目的を理解し、学習成果を達成できる資質を持つ人、具体的には次のような人を求める。

- ① 高等学校卒業程度の基礎学力を身につけている人。
- ② 食や栄養、健康に関心があり、その分野を深く学びたいという意欲を持つ人。
- ③ 自ら積極的に学ぼうとする姿勢を持つ人。
- ④ コミュニケーションの重要性を理解している人。
- ⑤ 自己成長のために努力し続けようとする姿勢を持つ人。
- ⑥ 栄養士として社会に貢献しようとする意欲のある人。

上記の人物像を踏まえ、筆記試験を中心とする一般選抜試験と面接などを中心とする各種選抜試験を実施し、学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を総合的に評価する。

ライフデザイン学科

ライフデザイン学科では、学科の教育目的を理解し、学習成果を達成できる資質を持つ人、具体的には次のような人を求める。

- ① 将来に向かって何事にも積極的に取り組むことができる人。
- ② 多様な文化や価値観を理解し、他者とコミュニケーションができる人。
- ③ 様々な出会いや経験を通じて豊かな人生を創造したいと考えている人。
- ④ ビジネス全般に関心を持ち、様々な業界で活躍したいと考えている人。
- ⑤ 特に観光ビジネスに関心を持ち、観光業界で活躍したいと考えている人。
- ⑥ ボランティア活動などを通じた地域貢献に関心がある人。
- ⑦ 国内外の文化やことばに関心を持ち、国際交流に貢献したいと考えている人。

上記の人物像を踏まえ、筆記試験を中心とする一般選抜試験と面接などを中心とする各種選抜試験を実施し、学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を総合的に評価する。

入試
ラインナップ

入試
カレンダー

アドミッション
ポリシー

英語外部入試利用
インテグレーション
プログラム

特待生制度

入試要項

総合型選抜（A・O）

特定地域
帰国渡日
社会人

フミリー
編入
留学生

スポーツ・吹奏楽

専門・総合
指定校

公募

一般
入試
チャレンジ

その他情報
インターネット
出願

各種免除
割引制度
対策講座

オーフ
キャンパス
イベント